

## ■ 亀田ファミリークリニック館山（KFCT）

院長 岡田 唯男

### 1 2019年度の目標と方針

- (1) 財務の視点：
  - ・ 地域包括診療料の算定件数増を目指す
  - ・ 在宅患者数増を目指す
- (2) 顧客の視点：
  - ・ 持続可能なQI活動の実現
- (3) 内部プロセス：
  - ・ 勤務時間調査を行い、長時間労働の拾い上げと対策を練る（継続）。
  - ・ 電子カルテ CIS導入に伴うスムーズな移行
- (4) 学習と成長の視点：
  - ・ 出張申請が出された勉強会、研究会などを、定数把握する（継続）。

### 2 2018年度評価（総括）目標の結果

- (1) 財務の視点：
  - ・ 地域包括診療料2から1の算定を目指す →  
外来から在宅のスムーズな移行を目標にし、年間10例を優に超える在宅移行が実現した。
- (2) 顧客の視点：
  - ・ 病院でも家族を診る、地域を診る、QIプロジェクト →  
病院総合医としての成長が期待される、病院重点コースの目標について、プログラム会議で議論を開始した。  
病院コースのレジデントミーティングを開催した。
- (3) 内部プロセス：
  - ・ 勤務時間調査を行い、長時間労働の拾い上げと対策を練る。 →  
勤務時間調査の結果、時間外勤務時間が把握された。結果として、カンファレンス時間の調整、勉強会のファシリテーションが充実し、勉強会が業務時間内に行うなど、時間への意識が向上した。
- (4) 学習と成長の視点：
  - ・ 出張申請が出された勉強会、研究会などを、定数把握 → 67件

年間活動

2018年6月 館山トライアスロン大会 救護班

2018年7月 納涼祭。他職種でよりよい職場環境へのディスカッション

2018年8月8日 館山湾花火大会協賛

2018年10月 秋の作品展

2019年1月 第38回館山若潮マラソン大会駐車場貸与、救護班

文責：吉澤 瑛子

### 3 診療実績

#### (1) 外来

- ・年間外来受診者数 68,116名（月平均 5,676名）うち初診患者数 4.8%（KFCT新来率=ID作成 0.6%）
- ・地域包括診療料算定 728件/年（前年比+190件）
- ・乳児健診 210件/年、妊婦健診 延べ79件/年、ニコチン依存管理料 166件/年、外来栄養指導 45件/年
- ・主な検査：血液検査 5923件/年、心電図検査 629件/年、単純X線検査 1,729件/年、超音波検査 720件/年

#### (2) 紹介

- ・他院からの当院への紹介 年間293件（うち鉄蕉会内部92件）
- ・当院から他院への紹介 年間1,606件 紹介率 2.4%。約97.6%は当院で完結している。

#### (3) 予防接種

- ・別項参照

#### (4) 患者様の声

- ・患者さまの声（2018.4～2019.3）計4件（不満足・苦情 1件 接遇：苦情 1件 設備：苦情1件 その他：苦情 1件）
- ・2018年度患者満足度調査結果

当院では毎年CQI（診療の質向上）委員会により満足度調査を施行している。

2018年度の結果の概要は以下の通りであった。

方法：当院 外来(歯科、リハビリ、透析、夕診を除く)を受診した患者へ、自己記入式アンケートを配布し、回収箱で回収した。

期間：2018年10月15日(月)-20日(土) 1週間

回答総数：408名

とても満足/やや満足/どちらでもない/やや不満/不満 の5段階で評価。

|              | ①とても満足 | ②やや満足 | ①+② |
|--------------|--------|-------|-----|
| 事務職員の言葉遣いや態度 | 67%    | 20%   | 87% |
| 待合室へのご案内     | 62%    | 22%   | 84% |
| 看護職員の言葉遣いや態度 | 74%    | 19%   | 93% |
| 医師の言葉遣いや態度   | 79%    | 14%   | 93% |
| 医師の知識や技術     | 66%    | 22%   | 88% |
| 医師の説明のわかりやすさ | 72%    | 19%   | 91% |
| 診察時間の長さ      | 58%    | 23%   | 81% |
| 待ち時間の長さ      | 35%    | 26%   | 61% |
| 待ち時間の対応      | 41%    | 24%   | 65% |
| 受診しやすさ       | 55%    | 27%   | 83% |
| 総合満足度        | 55%    | 30%   | 85% |

※実際の待ち時間

30分以内：69%、31-60分：12%、61-120分：3%、121分以上：0%

40分以上の36名（8.8%）うち、13名が定期外来、23名がオープン外来であった。

#### (5) 2018年度の主な活動

- ・小児特定疾患カウンセリング料の算定

当院には発達障害の相談で来院されており、児の特徴に合わせた外来診療を行なっている。2018年度より小児特定疾患カウンセリング料の算定を開始した。

- ・外来ミーティング

事務・看護・医師の担当者が定期的に集まり、外来システム・収益性・医療安全などの問題を話し合う時間を持つこととした。これにより各部署で問題となっていた課題について対策できるようになり、緊急性のある課題だけでなく、中長期的な視点でのシステム変更について話しあうことができるようになった。

ミーティングの内容から、診療報酬に対する事務レクチャー、

- ・看護部ミーティング

看護部と医局で外来症例、事例の振り返りを月1回、第4木曜日に行うこととした。

トリアージプロジェクトでの事例、特別なサポートが必要な症例、担当Ns症例などを共有した。

- ・遺族ケア外来

大切な人を失った方の悲嘆を受け止める場として、毎月1回土曜日に遺族ケア外来を開設した。通常の診療構造とは異なり、亀田総合病院 瀬良チャプレンと担当医が診療にあたり、傾聴・支持的なサポートを行なっている。

文責：岩間 秀幸

#### 4 リハビリテーション科

当院では子どもから高齢者までの診療を担うため、リハビリテーション（以下リハ）診療の内容も多岐にわたる。脳血管、運動器疾患のみならず、近年は発達障害に対する支援を求められる。このため、知識のアップデートや他職種連携を図るべく、3つの勉強会/カンファレンスを定期開催している。

##### (1) 思春期勉強会：

毎月第2火曜日の朝、小学校～高校（主に思春期）の児童に関する様々な課題を扱う勉強会を行っている。事例相談、レクチャー、情報共有など様々な形式で行っている。地域の学校の養護教諭、スクールカウンセラー、教育委員会職員、セラピスト（OT/ST）、家庭医など平均10名前後が参加している。テーマは5月支援がうまくいった事例共有、6月運動会・修学旅行の教育苦労話あるある、7・9月LGBTについて、10・11月思春期の発達障害について、12・1月医療と教育の連携について、2月メディアリテラシーについて、3月子供の睡眠障害について扱った。

##### (2) 小児リハカンファ：

毎月第4火曜日の夕方、幼児～小学校の児童に関する様々な課題（主に発達障害）を扱う勉強会を行っている。亀田総合病院小児科の専門医を囲む形で、事例相談が多いが、レクチャー形式の時もある。保健師、養護教諭、保育士、セラピスト（OT/ST）、家庭医など地域の療育に関わる職種が様々に集い、平均20-30名が参加している。2018年度は亀田総合病院臨床心理士も参加するようになった。

##### (3) リハビリ勉強会：

毎月第3火曜日の昼休みにリハ部門のセラピストと医局で合同の勉強会を行っている。テーマは、当院で行われているリハの実働状況や、当院のセラピストが行った海外支援の報告、インソールについてなど多岐に渡っており、両部署で交互に担当して行った。

文責：宮本 侑達

#### 5 スポーツ医学科領域

平成28年6月より、本院からスポーツ医学科部長の大内医師が月1回の半日外来を担当し、家庭医外来からの紹介もしくは継続フォローの患者の診察を行なっている。月別のべ患者人数は以下の表の通りであった。

受診された患者の疾患は肩腱損傷、腱板断裂術後、肩関節周囲炎、変形性頸椎症、石灰性腱炎、肩こり、腰部神経根炎、腰椎椎間板症、腰椎圧迫骨折、急性腰痛症、腰部神経根炎、腰部脊柱管狭窄症、肘部管症候群、梨状筋症候群、左変形性股関節症、左仙腸関節炎、両股関節インピンジメント症候群、坐骨神経痛、半月板損傷、変形性膝関節症、足底筋膜炎、ばね指、外反足、扁平足、前腕腫瘍、胸郭出口症候群、上腕骨外顆骨折、腓腹筋肉離れがあった。

表

| 月   | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 患者数 | 4名 | 5名 | 4名 | 6名 | 4名 | 5名 | 6名  | 6名  | 4名  | 3名 | 0名 | 2名 |

文責：宮本 侑達

## 6 産婦人科領域

2006年の開院以来、家庭医および専攻医による妊婦ケアを亀田総合病院産婦人科のサポートのもと実践している。2018年度は週2回午前に妊婦健診・婦人科診療、週1回午後に産後ファミリー外来、週3回の子宮頸がん検診を行っており、当院の研修を修了し家庭医療専門医・産婦人科専門医の水谷佳敬医師の指導のもと診療している。2018年4月1日～2018年3月31日ではのべ79件の妊婦健診を行った。当院所属の助産師と連携し、妊娠・出産に関わる継続的な支援を行っている。また、婦人科診察では当院に定期通院している患者さんの様々な婦人科領域に関わる相談および診察を行なっている。産後ファミリー外来では、産後2週間・1ヶ月で、新生児と褥婦の診察をしている。家庭医が関わることで、母子同時の受診が可能であり、また小児科・婦人科以外の領域の相談に、家族の変化や思いに寄り添った包括的な診療の提供を行っている。月1回マタニティカンファレンスとして産婦人科専門医と当院の産婦人科症例について共有を行い、診療の質の担保を行っている。2013年度から館山市、南房総市、鋸南町、鴨川市の子宮頸癌の施設検診を受託する指定医療機関となり、子宮頸がん検診を行なっている。2017年度より子宮頸がん検診を推奨するポスターの掲示を行い、前年度より35名多い、計262例(館山市144例、南房総市94例、鋸南町23例、鴨川市1例)の検診を施行している。

2018年度より亀田総合病院産婦人科からの要請により、安房地域医療センターでの人間ドックでの子宮頸がん検診(月2回)を開始している。

文責：坂井 雄貴

## 7 予防接種

ワクチン接種数：年間総本数 8,852本(月平均738本)

主な内訳(公費/自費ともに含む)：インフルエンザワクチン3557本、成人肺炎球菌ワクチン261本、ヒブワクチン453本、小児肺炎球菌ワクチン510本、4種混合ワクチン502本、BCGワクチン138本、MR(麻疹風疹)ワクチン390本、日本脳炎849本、二種混合(DT)ワクチン119本、水痘ワクチン410本、ムンプスワクチン311本、ロタウイルスワクチン(ロタリックス®)163本、A型肝炎ワクチン8本、B型肝炎ワクチン474本、ヒトパピローマウイルスワクチン4本など。接種本数のうち、インフルエンザワクチンが約38%を占めた。接種総本数は約8,852本と、昨年に引き続き軽度増加を認めた。当院では家庭医としてあらゆる年代・ライフステージの患者様を対象としているため、

扱うワクチンの種類も多岐にわたる。特に2019年6月現在任意接種であるムンプスワクチンについては、4年前からパンフレットなどを用い接種の推進を続けた結果、高い接種率が維持されている。また、麻疹・風疹の流行に伴い30-50代男性に対して積極的な予防接種の推奨を行い、自費での麻疹・風疹、MRワクチンの接種数の増加が見られた。2017年度に引き続き、亀田総合病院小児科・新生児科と連携を行い、当院での接種を希望する患者に対してパリビズマブ(シナジス®)の注射を実施、2018年度は12本の接種を行っている。

文責：坂井 雄貴

## 8 在宅

- ・当院は、2018年度末の時点で常勤指導医10名（在宅医療認定専門医1名を含む）と、複数人の後期研修医によるグループで在宅診療を行っている強化型在宅療養支援診療所である。がん患者の割合が多く緩和ケアを十分に提供していることから、2016年度からは診療報酬改定に伴い“在宅緩和ケア充実診療所加算”の算定を開始した（施設基準：過去1年間の緊急往診件数15件以上、自宅看取り件数20件以上、PCA導入2件以上など）。
- ・同施設併設の訪問看護ステーション、総合相談室、訪問ヘルパーステーションとの連携もあり、2006年度の開設以後、5-7割と高い自宅看取り率を維持している。
- ・毎週水曜に、緩和ケアカンファレンスと称して、亀田総合病院（以下KMC）の緩和ケア科、在宅医療部の医師に、ターミナル期の症状緩和の方法や、鎮痛薬の使い方、代理意思決定支援などの事例相談を行っている。毎週火曜にARMECカンファレンスと称して、安房地域医療センター（以下ARMEC）総合診療科の医師と、在宅から入院になった事例のその後の経過や、退院計画の相談、新規で訪問診療導入を検討している方について情報共有を行なっている。
- ・2018年度に、重症乳児在宅事例の受け入れを開始した。

### <新規導入件数>

- ・2018年度の訪問診療新規導入患者は、計 72件、うち、癌は 43件（59.7%）であった（新規導入患者数：2014年度59件、2015年度62件、2016年度53件、2017年度55件）。
- ・主な紹介元となるKMCやARMECと遠隔会議の実施や連携に努めた結果、当院在宅の認知度が高まったことも大きく関与していると考えられる。

### <紹介元>

- ・紹介元としては、KMCからが 36.1%（26件）、ARMECから 26.4%（19件）、KFCTから 29.2%（21件）、その他 6件であった。KMC、ARMECからの紹介が、62.5%を占めており、高い自宅看取り率を維持しながらも、患者の状態や希望に応じ、随時レスパイト含めた入院受け入れなどの連携がスムーズなのが、当院在宅の強みともいえる。当院医師の鴨川出向時に、退院前の訪問やカンファレンスに参加して、退院前カンファ実施のためにARMECへ訪問することを意識的に行っており、顔の見える関係づくりが病診連携を深める一因になっていると考える。

- ・KFCTの外来からの在宅導入事例が増加している。将来的に在宅診療を見据えた外来紹介が増えたことが一因と考えられる。
- ・県内の関連病院以外の施設からの紹介が徐々に増加しており、地域における当院在宅の認知度が上がった可能性がある。

#### <定期訪問>

- ・定期訪問は計 1225件（最高は5月で 111件、最低は1月で 96件、平均 102.1件/月）だった。（2017年度は1194件）
- ・日中を含む臨時訪問は計 206回（最高は7月で 26件、最低は10月で 6件、平均 17.1件/月）だった。（2017年度は210件）

#### <看取り>

- ・契約終了（死亡、入院、入所、外来復帰を含む）は計 69件であり、そのうち、死亡による契約終了は 57件（癌患者 42件）であった。契約中の患者で在宅看取りを行ったのは 47件（施設 3件含む）（82.4%）、うち癌患者における在宅看取りは 37 / 43件（86.0%）であった。
- ・外来通院への復帰が4件あり、在宅の適正利用を目的とした定期的な見直しが奏功した。

在宅看取り率＝在宅看取り件数÷契約中に死亡した全患者

癌患者の在宅看取り率(2006-2012)＝在宅看取りした癌患者÷契約終了した癌患者

癌患者の在宅看取り率(2013-2016)＝在宅\*看取りした癌患者÷契約中の死亡した全癌患者

\*：療養施設を含む

#### <遺族ケア>

- ・ご遺族のケアを行うため、2008年よりグリーフカードの送付を行なっている。カードは手書きで作成し、看取り後2ヶ月を目安にご家族にお送りしている。担当看護師がいれば看護師が作成するが、往診のみの場合や他の訪問看護が導入されている事例では医師が作成することになっている。
- ・上記に加えて、悲嘆反応（グリーフ）のケアを行うため、2018年度から亀田総合病院 疼痛・緩和ケア科所属のチャプレンを指導に招き、遺族ケア外来を立ち上げた。2018/4-2019/3までの期間で、医師7人が外来を経験し、7人の遺族に対し、のべ38回の遺族ケア外来を提供した。職員のグリーフケアのレベルアップのため、遺族ケア外来の同日に、遺族ケア勉強会も開催している。

文責：吉澤 瑛子

## 9 透析

2019年5月末現在、透析室はベッド数 23 床、患者数 38 人、週 6 クール（月・水・金：午前、火・木・土：午前）で運営されている。

のべ透析回数は、2018年度 5811回（2017年度6083回、2016年度 6,815回、2015年度 6,977回、2014年度 6,537回、2013年度 6,936回、2012年度 7,151回、2010年度 7,444回、2008年 5,769回、2007年度 2,931回）であった。

2016年8月よりオンラインHDFを開始、現在は15台分のオンラインHDFを行える機器を備え、使用している。

透析に関する検査項目を、定期採血として月2回確認している。また亀田総合病院から週1回腎臓内科専門医が来院するため具体的な相談を行うと共に、勉強会を定期的に行い、透析に関わる医師で、ガイドラインの確認や、貧血、CKD-MBDのコントロールなどについて個別検討を行っている。

透析の質評価の項目以外にも、癌検診、予防接種など健康維持増進の取り組みについて、2014年より看護部と協力したシステム構築を行っている。2018年度は、予防接種の積極的な推奨を行った。プレバナー、帯状疱疹、MR、B型肝炎について、対象者に個別で接種推奨し、のべ10件の追加接種を実施した。透析患者は総じて動脈硬化リスクが高いため、2018年度より年1回のABIの実施を開始した。

また、急変リスクも高いため、毎年1月にACPを行い、コード確認書の記載を行なっている。

文責：吉澤 瑛子

## 10 医師会受託事業

|      |             | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 |
|------|-------------|--------|--------|--------|
| 館山市  | 4ヶ月乳児健康診査   | 0      | 2      | 3      |
|      | 1才6ヶ月乳児健康診査 | 1      | 2      | 4      |
|      | 3歳児健康診査     | 10     | 7      | 4      |
|      | 総合検診（特定健診）  | 3      | 3      | 4      |
| 南房総市 | 4ヶ月乳児健康診査   | 0      | 0      | 0      |
|      | 1才6ヶ月乳児健康診査 | 3      | 2      | 2      |
|      | 3歳児健康診査     | 1      | 1      | 1      |
|      | 総合検診（特定健診）  | 6      | 6      | 6      |

文責：岩間 秀幸、粕谷 奈美

## 11 教育、研修部門（2019年6月時点）

### (1) 修了生

2019年3月に16期生の2名（坂井、宮本）が3年間の後期研修プログラムを修了した。家庭医診療科の研修修了生は合計17期47名となった。

### (2) シニアレジデント、フェロー

2018年4月に第18期生6名を採用し、2018年度は合計12名のレジデントが在籍した。レジデント修了者4名が、フェローとして在籍した。

### (3) ジュニアレジデント



当院は亀田総合病院地域ジェネラリストプログラムの必修研修の場となっている。1年次3名、2年次4名の合計7名が当院で研修を行い、1ヶ月ずつのローテーションと、月2回半日の外来研修（ハーフデイバック）を継続して行った。また亀田総合病院その他のコースの初期研修医8名のローテーション研修を、1ヶ月ずつ受け入れた。

(4) 見学、研修生

後期研修医を亀田総合病院総合内科から1名(1ヶ月)、千葉大学医学部附属病院総合診療科後期研修プログラム（家庭医療コース）から1名(6ヶ月)、東海大学家庭医療後期研修プログラムから1名(6ヶ月)受け入れた。

外部からの見学、視察は以下の通り：

|                | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 |
|----------------|--------|--------|--------|
| 医師             | 7      | 4      | 4      |
| 後期研修医          | 5      | 7      | 10     |
| 初期研修医          | 6      | 20     | 26     |
| 学生             | 38     | 24     | 21     |
| 学生（2週間以上の臨床実習） | 1      | 4      | 1      |

12 研究部門

学術関係の記録を参照のこと。

13 スタッフ

現在のメンバーの概要を以下に示す。経歴、資格、役職などは当院のホームページを参照されたい。メンバーは計21名＋非常勤8名（2019年6月現在）である。

■部長（院長兼任）

岡田 唯男

■部長代理

吉澤瑛子（11期生）在宅、透析部門統括

■プログラムディレクター

医長 岩間 秀幸（12期生） 外来、教育部門統括

■スタッフ

医員 田島明野（14期生） ※育休中

伊藤彰洋（ファミリーメディスン株式会社、非常勤）

松岡角英（ふさのくに家庭医療学センター、非常勤）

川島かおる（非常勤）

吉田賢史（西嶋医院、非常勤）

織田暁寿（ホームクリニック柏、非常勤）  
塩田正喜（河北ファミリークリニック南阿佐ヶ谷、非常勤）  
高橋亮太（非常勤）  
上松東宏（豊田地域医療センター、非常勤）  
相田万実子（亀田リハビリテーション病院、非常勤）  
年森慎一（みんなのクリニック大井町、非常勤）  
安藤崇之（慶應義塾大学病院、非常勤）

■フェロー（3名）

坂井雄貴（17期生）外来、マタニティ部門担当  
宮本侑達（17期生）在宅、リハビリ、スポーツ部門担当  
熊谷安代（在宅フェロー）

■後期専門研修医（3年間、10名）

18期生 金久保祐介、河田祥吾、常石大輝、伊豆倉遙  
19期生 高島大樹、濱田春樹、久保伸貴、近藤慶太、高岡沙知、山田美登里  
20期生 稲垣陽子、塚原麻希子、栗原史帆、西明博、山田有統

■非常勤

小原まみ子（腎臓高血圧内科 コンサルタント）  
市河茂樹（小児科 コンサルタント）  
大内洋（スポーツ医学科 コンサルタント）

■初期研修（7名）

（地域ジェネラリストコース8期生）

堤俊太、菊池真由、赤穂良晃

（地域ジェネラリストコース9期生）

中島浩一、吉羽史織、篠崎萌、山田真子

■出向スタッフ

|            |                |
|------------|----------------|
| 菅長麗依       | 幕張クリニック        |
| 水谷佳敬（9期生）  | さんむ医療センター      |
| 勝山陽太       | さんむ医療センター      |
| 濱井彩乃（11期生） | 安房地域医療センター     |
| 張耀明（14期生）  | 新島村国民健康保険本村診療所 |

## 14 教育、勉強会関係など

当院は教育プログラムを有し、研修医が多く、他施設からの研修生も多く受け入れている。これにより院内は活性化し、常にお互い学び合う文化の醸成と患者ケアの質向上に邁進している。

### <後期研修プログラム>

「亀田家庭医総合診療専門医プログラム」は、2013年度より正式に4年プログラムとなった。日本プライマリ・ケア連合学会の後期研修プログラムとして登録し運用しており、毎年3-4名の後期研修医を採用してきた。2018年4月からの新専門医制度の開始に合わせて、安房地域医療センターと連携し6名の定員に増員した。プログラム要件として、内科、小児科、救急などの経験が要求されており、亀田総合病院・安房地域医療センター・さんむ医療センター等の各科の協力を得て教育・運営を行っている。他、腎臓内科、産婦人科、在宅医療、リハビリテーション、緩和ケア、スポーツ医学などの各科を研修し、KFCTでの外来・訪問診療・透析の業務に携わっている。

### <フェローシッププログラム>

- ・KFCT FD (faculty development) フェローシッププログラム(1-2年間)
- ・General Practitioner with Special Interest(以下 GPwSI) fellowship(1-2年間)

の2つのフェローシッププログラムを提供しており、2018年度からはResearch fellowship program(リサーチフェロー)を開始する。

2018年度は相田・岡田(悠)・久保田・年森がFDプログラムに参加した。家庭医療・Teaching improvement・Academic and Career development・Leadership and management・Researchの5つの要素について月1回small discussion形式で実践的に学習した。研修修了判定は口頭試問およびOn the jobでの評価で行い、全員が合格し修了した。1名が産休・育休を取りながら修了した最初の経験となった。

FDプログラムから、子宮頸がん検診プロジェクト、LGBT勉強会、多職種協働(安房秘密基地)、自動車運転再開プロジェクトなどが生まれた。また専門医試験には4名の卒業生が全員合格し、年森・相田がポर्टフォリオ優秀賞、久保田が臨床実技試験優秀賞を受賞した。(安房地域医療センタープログラム、短期研修生と合わせて11名の優秀表彰者のうち、5名の当プログラム関連者が受賞した。)

### <初期研修医教育>

地域ジェネラリストプログラムの初期研修医を、1ヶ月×2回のローテーション研修、月2回半日の外来研修で受け入れている。他、骨太プログラムの研修医のローテーション研修の受け入れも行っている。

坂井(17期)、安藤(ARMEC)、吉澤を中心に初期研修プログラムの再検討が行われ、研修プログラムを改善した。具体的には、指導資料やローテーションの心得、外来での決まりごとなどを整備、メンターによるサポートの質の担保、家庭医療のコアについて振り返り、ビデオフィードバック等を定期プ

プログラムに組み込んだ。またレジデントデイへの参加など、教育体制を強化しており、初期～後期の研修の連続性が期待される。

#### <勉強会・カンファレンス>

院内医師向けの勉強会としては、「AFPカンファレンス」「患者共有カンファレンス」「マタニティカンファレンス」「ポートフォリオ勉強会」などがある。

院内多職種での勉強会として、「透析カンファレンス」「在宅カンファレンス（デスカンファ・シェアカンファ）」「リハビリカンファレンス」を行っており、各種業務に関連し活発な議論を行っている。

院外も含む多施設・多職種の勉強会では、「小児リハビリカンファレンス（特別支援学校やマザーズホームの職員、養護教諭が集まり、発達障害児について情報共有を行う）」「思春期勉強会（養護教諭が集まり思春期の生徒について扱う）」を主催している。

#### <レジデントデイ>

他科ローテーションで院内レクチャーやポートフォリオ勉強会に参加できないというレジデントの声を反映させ、2015年より年3回土曜午後の時間に全専攻医が集まって学んでいる。岡田院長のレクチャー、外来ビデオレビュー、拡大ポートフォリオ等を行った。

ディスカッションを中心に家庭医療学を深く学び（Deep learning）、終了後は懇親会を行って日常の悩みや課題について学年を超えてサポートしている。岡田院長レクチャーからはプライマリ・ケア学会の夏期・冬期セミナーの題材となる新たな亀田家庭医の強みとなるコンテンツが生まれた。

#### <メンター制度>

2015年度より導入していたメンター制度を2016年5月より本格的に開始した。専攻医1人1人に上級医が年間を通してメンターとしてつく通年メンターを設定した。メンターは月1回以上、学会の研修手帳を用いて振り返りを行いながら学習目標や到達度の確認を共に行い、また日常生活で困っていることの相談があった。定期的に専攻医から指導医へのフィードバック体制を設け双方向性の指導としている。

文責：岩間 秀幸、粕谷 奈美

## **看 護 室**

（準備中）

## **訪問看護ステーション館山**

### 1. 2019年度について

2018年度11月末をもって当事業は一時休止となる。

### 2. 2018年度事業評価（4～11月まで）

#### （1）財務の視点

介・医保険のダブル改定後にて、コスト意識の徹底に努め、特に連携先の病院との退院時共同指導加算をしっかりと算定していくことで、安心して利用者・家族が退院できるようサポートに努めた。

(2) 顧客の視点

安全なケア提供を実施するため、看護計画書の評価、修正を適宜実施した。また事前契約を意識的に実施した。

(3) 内部プロセスの視点

ISO取得に向けて取り組み、無事に取得に至る。

(4) 学習と成長の視点

法改定に伴って、具体的な変更事項の共有等の勉強会を実施した。

### 3. スタッフ構成

所長：鈴木健一

他、看護師：4名

作業療法士：2名（兼務）

理学療法士：1名（兼務）

### 4. 業務内容

(1) 予防看護・地域看護・終末期看護・緩和ケア・家族看護・リハビリテーション等

患者さまの想いに添い、期待以上のサービスを提供するために主治医や、その他関連職種との密な連携のもとに看護実践をしている。

(2) 24時間緊急時対応体制

患者さまやそのご家族からの連絡（状態の変化や療養上の不安等）に、主治医と連携を図りながら対応できる体制をとっている。

### 5. 事業実績

(1) 依頼経路

2018年度4月～11月の期間で新規導入に至ったのは46名であった。

依頼先の内訳として亀田総合病院から2名（約4%）、安房地域医療センターから12名（約26%）、併設する亀田ファミリークリニック館山から30名（約65%）、それ以外から2名（約4%）であった。

(2) 新規依頼患者の内訳

全46名の内26名（約57%）が担癌患者である。癌以外の疾患としては、神経難病12名、脳血管系2名、消化器系2名、循環器疾患2名、呼吸器疾患4名、認知症6名、小児2名、その他2名となっている。

(3) 転帰

利用患者さまの転帰の多くが死による終結である。2018年度は44名が訪問看護の利用を終了した。その内の32名（約73%）が死による終結であった。亡くなった方の内27名（約84%）は自宅で最期を迎えている。亡くなった方の内、主病名が癌であった方は18名であり、その内自宅看取りをした方は16名（約89%）であった。

医師・その他関連職種との連携が機能し、自宅での看取りを実現可能としている。

(4) 訪問件数

2017年度4月～11月での訪問延べ件数は1829件であった。

(5) 緊急時連絡対応件数

訪問看護師が交代で拘束対応しており、電話連絡を受けている。その内容に応じて医師と連携を図り対応している。

2018年度4月～11月に臨時訪問した回数は148件であった。

主な内訳は排泄関係件16（約11%）、ターミナル関係43件（約29%）、カテーテルトラブル関係28件（約19%）、発熱15件（約10%）、その他46件（約31%）であった。

その他の内訳としては、転倒や転落、ケア代替、急な体調変化（意識状態の変調や、急な疼痛出現など）であった。

6. カンファレンス・連携

(1) 在宅朝会 毎朝 在宅担当医、訪問看護師、ケアマネージャー、リハビリ等が参加し、前日の訪問内容を報告し、情報の共有を図っている。

(2) 在宅タカンファレンス 毎夕

当日の訪問（診療・看護）についてディスカッションを実施し、方針の決定等を行う。

(3) 在宅全体カンファレンス

関係職種（医師、看護師、リハビリ、ケアマネージャー等）が集まり実施。

・シェアカンファレンス 月1回

困難事例への対応や、方針設定などを実施。

・デスカンファレンス 月1回

亡くなった患者さまの振り返りを実施。その後グリーフカードを作成し送付している。

(4) 在宅改善カンファレンス 不定期

既存の在宅業務内容を評価、修正し業務改善を図っている。

(5) 他院との連携

地域の開業医等から患者さまの紹介、導入の相談が適宜発生しており、各施設のソーシャルワーカーや担当医師、看護師との連携を図り対応している。

文責：鈴木 健一

## リハビリテーション室

### 1. 2019年度の目標及び方針

#### 1) 財務の視点

増収促進とし、外来リハでは実施単位平均360単位/月、稼働率100%、新患件数60件/月とする。訪問リハでは訪問件数70件/月とする。

#### 2) 顧客の視点

患者満足度維持向上、Net Promoter Score向上とする。

#### 3) 内部プロセスの視点

手指衛生遵守率向上（70%以上）、残業時間短縮などの診療効率向上のために時間外30時間未満/月の職員比率100%とする。

#### 4) 学習と成長の視点

必須研修の受講率100%とする。

### 2. 2018年度評価

#### 1) 財務の視点

診療実績として、外来リハ実施単位は平均316.3単位/月、稼働率は目標の87.7%であった。訪問リハ件数は平均67.9件/月であった。

#### 2) 顧客の視点

患者満足度の平均点数80.3点（昨年80.3点）、顧客ロイヤリティ指数（他者へ当リハビリ室の紹介度合い）Net Promoter Score49.0であった。

#### 3) 内部プロセスの視点

手指衛生遵守率50.9%と目標の70%を下回った。業務マニュアル更新を行った。

#### 4) 学習と成長の視点

研究活動は0件、外部研修の伝達勉強会を4件開催した。

### 3. 年間活動内容と業務紹介

#### 1) 職員構成

理学療法士5名、作業療法士3名、言語聴覚士4名、受付1名

#### 2) 業務内容

外来リハ：脳血管・運動器・呼吸器における理学療法、作業療法、言語聴覚療法

訪問リハ：訪問リハにおける理学療法、作業療法

（介護保険による訪問リハ、医療保険での訪問リハ指導管理料）

#### 3) 年間活動

近隣施設・教育機関等を含めた小児合同カンファレンス（12回/年）

家庭医診療科医師とリハビリカンファレンス（12回/年）

透析関連職種とのカンファレンス 12回/年

#### 4. 実績

##### 1) 外来リハの対象疾患

運動器疾患（変形性関節症、骨折、スポーツ障害等）

脳血管疾患（脳血管疾患、脊髄損傷、神経難病、自閉スペクトラム障害、言語発達遅滞等）

呼吸器疾患（COPD等）

##### 2) 外来リハの実績ほか

新患件数：664件/年、55.3件/月（昨年度は472件/年、39.3件/月）

疾患別リハ実施件数：運動器リハ5,230件/年、脳血管リハ8,010件/年、呼吸器リハ79件/年

疾患別リハ実施単位：運動器リハ10,526単位/年、脳血管リハ21,170単位/年、呼吸器リハ158単位/年

疾患別リハ件数割合：運動器リハ39.3%、脳血管60.1%、呼吸器0.6%

疾患別リハ単位数割合：運動器リハ33.0%、脳血管66.5%、呼吸器0.5%

リハビリ計画書算定件数：評価料1 1028件、評価料2 41件

館山自動車教習所での運転評価・指導：1件

##### 3) 臨床実習生受け入れ

合計7校（PT3校、OT1校、ST4校）

##### 4) 院内連携

(1) 家庭医診療科医師とリハビリカンファレンス参加 12回/年

(2) 透析関連職種とのカンファレンス参加 11回/年

##### 5) 地域連携

(1) 近隣施設・教育機関等を含めた小児合同カンファレンス参加 12回/年

(2) その他（講師依頼ほか）

千葉県立安房特別支援学校 特別非常勤講師；自立活動指導・助言のための訪問

理学療法士 西山新治（5回/年）

作業療法士 永久保珠絵（3回/年）

千葉県立安房特別支援学校 開かれた学校づくり委員会委員；委員会会議参加の訪問

理学療法士 東拓弥（3回/年）

館山市マザーズホーム；療育相談（幼児発達促進・保護者支援）のための訪問

言語聴覚士 小池沙織（6回/年）

作業療法士 永久保珠絵（3回/年）

千葉県立安房特別支援学校 研修会講師；「発達段階に応じた、動きを引き出す働きかけ」

理学療法士 荒牧奈緒美



## 5. 学術関係

学術発表・出版関係：なし

文責：東 拓弥

### **事 務 室**

#### 1. 2019年度の目標及び方針

##### **【医 事】**

##### 1) 財務の視点

- ・レセプト点検ソフトの活用を進め、紙レセプト審査の廃止に向け業務を細分化する。  
月の紙レセプト4千枚の経費削減につなげる。

##### 2) 顧客の視点

- ・受付や予約等の案内誤りや案内不足を減少し、患者さまへわかり易い説明を心がける。

##### 3) 内部プロセスの視点

- ・CIS+導入後の操作手順の改善や進捗状況を定期的に確認し、業務の効率化に努める。

##### 4) 学習と成長の視点

- ・千葉県民間病院協会主催の医事勉強会や、千葉県医師会等主催の研修会へ参加する。また、事務室内での勉強会を定期的に計画開催し、専門知識習得に努める。

##### **【総 務】**

##### 1) 財務の視点

- ・年間当期純利益実績値について、予算比90%以上を目標とする。

##### 2) 顧客の視点

- ・ご意見内容の苦情について、前年比減を目指す。

##### 3) 内部プロセスの視点

- ・ISO9001サーベイランス審査に向けて、規程の確認及び見直しを図る。

##### 4) 学習と成長の視点

- ・職員研修手帳の研修必須単位の取得を目指す。

##### **【経 理】**

##### 1) 財務の視点

- ・小口現金の速やかな処理と預金管理の徹底。

##### 2) 顧客の視点

- ・患者満足度調査の実施。（集計、分析、結果・回答の掲示）

##### 3) 内部プロセスの視点

- ・出張費支払システムの導入。

##### 4) 学習と成長の視点

- ・職員研修へ参加し、年間目標を達成する。

【診療室事務】

(準備中)

【施設・運転管理】

(準備中)

2. 2018年度評価

【医 事】

1) 財務の視点

- ・保険番号等誤りによる返戻件数

2017年度 13件

2018年度 17件

結果的には増数となったが、そのうち8件は審査側からの一方的な返戻によるものであり、実際の誤りは9件に留まる。入力時の再確認および翌日の確認が不十分であった。

2) 顧客の視点

- ・案内誤りの結果

| 7月  | 8月  | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----|-----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 10件 | 10件 | 3件 | 4件  | 13件 | 6件  | 0件 | 2件 | 5件 |

血圧計の設置場所の変更や構造上待合室の入口が2箇所、中待合いが3つに分かれており、患者さまにわかりづらい事が要因と思われる。インフルエンザの予防接種時期は、問診票を渡したり説明内容が多いため、場所の見取り図や診察までの流れを文章化し、受付で渡すなど工夫した。いかにわかり易くご案内できるかが今後も課題として残る。

3) 内部プロセスの視点

- ・職務調査表を用いて手順の確認および評価を行った。

4) 学習と成長の視点

- ・千葉県民間病院協会主催の医事勉強会に毎月参加し知識の習得・業務向上に繋がった。また、事務室内での勉強会を行い、日頃の業務の見直しや再確認に繋がり有意義であった。

【総 務】

1) 財務の視点

- ・年間当期純利益については、予算比では約90%、前年比では約96%となり前年比ではほぼ達成したと思われる。

2) 顧客の視点

- ・ご意見への回答率は、100%となり達成となった。

3) 内部プロセスの視点

- ・ISO9001認証を取得した。

4) 学習と成長の視点

- ・職員研修へ参加するように心がけてきましたが、目標単位を取得するまでには至らなかった。

【経 理】

1) 財務の視点

- ・月次締め後に実績確認し、速やかに月次資料の作成ができた。

2) 顧客の視点

- ・患者満足度調査後の集計・分析は早めに終わることができたが、ご意見への回答の作成に時間を要し院内への掲示が遅くなってしまった。

3) 内部プロセスの視点

- ・出張費支払システムは導入できなかったため、次年度への持ち越し課題となった。

4) 学習と成長の視点

- ・医療安全研修、感染管理研修、防災訓練は規定内の参加ができた。

【診療室事務】

(準備中)

3. 業務紹介及びスタッフ数 (平成31年3月31日現在)

1) 業務紹介

①受付・会計業務

②レセプト請求業務

③予約受付業務

④クリニック統計業務

⑤総務業務

⑥経理業務

⑦医局業務

2) スタッフ数 計18名

①医療事務業務 9名 (定時職員2名含)

②外来補助事務業務 1名

③総務事務業務 1名

④経理事務業務 1名

⑤診療室事務業務 1名

⑥施設・運転管理業務1名

⑦運転・営繕業務 2名 (定時職員)

⑧清掃業務 2名 (定時職員)

文責：佐藤 直人

**歯 科 セ ン タ ー**

1. 2019年度目標

1) 財務の視点

業務を簡素化して安全に務めるように常に検討する。

コストパフォーマンスを意識し、件数の1%増加を目指す。

2) 顧客の視点

インフォームドコンセントをわかりやすく十分に行い、患者様の満足度をアップさせる。

### 3) 内部プロセスの視点

スタッフミーティングにて、症例検討会、意見交換、問題点の抽出し、検討する。

### 4) 学習と成長の視点

医療従事者に求められる研修会や勉強会に積極的に参加して個人の成長を図る。

## 2. 2018年度総括

### 1) 財務の視点

業務の安全を常に意識し、物品、材料の無駄を省く。

在庫管理の確認発注をこまめにおこなった。

常勤歯科医師、歯科衛生士の増員はできなかった。

件数が1%減少した。

### 2) 顧客の視点

待ち時間対策、満足度、質の向上の検討のため、満足度アンケートを2018年11月12日から6日間実施、結果をスタッフ全員で共有した。

アンケート結果から1%未満の方から不満の意見もあることに検討した。

### 3) 内部プロセスの視点

患者様情報、クレーム、ご意見、材料器材情報、インシデント情報、診療報酬情報、算定について、診療システム情報、予約、会計、技工物、勤務表、KFCT各種委員会情報、勉強会、イベント情報。毎週火曜日にスタッフミーティングにて、確認検討を51回開催、情報伝達事項を毎回議事録に保存し、欠席者も確認、共有した。

### 4) 学習と成長の視点

医療の最新情報収集、確認、共有を行うため、職種別教育訓練計画に基づき年6回の勉強会を開催した。

## 3. スタッフ構成

歯科医師数：常勤2名 非常勤6名

歯科衛生士：常勤6名 非常勤3名

受付事務：常勤3名 非常勤2名

歯科技工士：2名

## 4. 診療内容

ユニット・チェア数8台、カウンセリング室、小手術用オペ室完備。

一般歯科：虫歯や歯周病の治療、義歯など補綴物の作成

小児歯科：子供の歯科治療

矯正歯科：歯並びの治療

口腔外科：外来処置が可能な外傷、炎症、腫瘍。顎関節症、鎮静下での歯科治療。

デンタルインプラントなど

審美歯科：ホワイトニング、ラミネートベニア、オールセラミック

#### 5. 診療実績：

再生療法8症例、インプラント10症例、埋入総数は14本であった。

#### 6. 教育

ドクターカンファレンス

歯科センターとして歯科医師個人としての診断や治療計画の立案および治療手技の向上を目的として月2回火曜日に症例検討会を行い、積極的に意見交換や確認を行っている。

スタッフミーティング

スタッフ一同働きやすい環境作りと患者さまの満足度を上げることを目的として月2回火曜日に歯科衛生士、助手および技工士にて日々の問題点を抽出し、検討している。

文責：小澤 重人

### **委員会活動**

2011年度からクリニック内の部署を超えた横断的連携を目的とし、月1回1時間の委員会活動が開始された。

各委員会の名称と活動内容、実績は以下のとおりである。

#### 医療安全委員会

##### 1 委員構成

委員長 鈴木 千恵子

副委員長 荒牧 奈緒美

委員 計11名

##### 2 委員会開催回数10回（毎月第4木曜日16時より）

##### 3 活動実績

- ・ 医療安全巡視8月施行
- ・ 医療安全職員研修会開催

第1回：DVD上映

① 11月6日 18:00～19:00

② 11月14日 18:00～19:00

第2回：DVD上映

① 2月5日 18:00～19:00

② 2月13日 18:00～19:00

不参加者3月にDVD個別視聴

- ・ 各部署のインシデント報告と分析・改善策の検討（毎回）  
レベル2以上はフォローアップ用紙の記入
- ・ 患者識別モニタリングの院内実施（CQI満足度アンケートに組み込む）
- ・ コードブルー・コードイエローのフロー作成
- ・ 放射線安全管理より報告
- ・ 医用機器管理責任者より報告

#### 4 申送事項

- ・ 医療安全活動報告会での演題発表（2019年11月予定）
- ・ インシデントフォローアップ用紙の引き継ぎ（透析での心肺停止）

### 感染管理委員会

#### 1 委員構成

委員長 石井俊之  
副委員長 吉田憂子  
委員 岡田悠 小澤重人 鈴木早苗 浅井史織  
岡本美友 石井俊之 大友可奈 計7名

2 委員会開催回数 10回（毎月第4木曜日16時より）

#### 3 活動実績

- (1) 手指衛生モニタリング（5月、1月）
- (2) 院内研修の実施（6月、10月、12月）
- (3) 院内のウェルフォームの設置配置図の作成
- (4) 流し台清掃チェック票の作成
- (5) 院内環境ラウンド、各部署にフィードバック

#### 4 申送事項

- (1) 手指衛生遵守率向上活動  
モニタリングの継続  
研修など
- (2) 環境ラウンドの継続  
各部署の環境チェック表の作成
- (3) 感染委員の教育  
院内感染対策マニュアルに目を通す  
感染対策について統一した知識を身につけられるようにする。

## 防災委員会

(準備中)

## 広報委員会

### 1 委員構成

委員長 鈴木恵美

副委員長 富川志乃布

委員 坂井雄貴、濱田春樹、渡邊結花、忍足めぐみ、田中華納、  
平山愛理、大井香、佐久間華奈、大井美紀 計11名

### 2 委員会開催回数10回（毎月第4木曜日16時より）

### 3 活動実績

- ・院外報の編集及び発行
- ・院内報の編集及び発行
- ・ホームページの管理

### 4 申送事項

- ・院外報の編集及び発行
- ・院内報の編集及び発行
- ・ホームページの管理
- ・10日締切を厳守できるよう365を利用し、早めの依頼や呼びかけを行う。
- ・PCのデスクトップの管理

## CQI委員会

### 1 委員構成

委員長 : 藤田誠

副委員長 : 山口和子

委員 : 計10名

### 2 委員会開催回数 計10回（毎月第4木曜日16時～17時）

### 3 活動実績

#### (1) 院内案内表示の作成と掲示

院内図・診察室・トイレ(授乳室と車椅子用含む)・会計の誘導

#### (2) 患者満足度調査実施

アンケート調査・分析・掲示

各部署の一部アンケート項目の統一と比較分析

#### (3) 自動血圧計の設置場所の変更

#### (4) 薬局までの移動の雨天時の対策（案内とレンタル傘設置の準備）

#### 4 来年度計画

- (1) 職員満足度調査実施
- (2) 患者満足度調査実施
- (3) 院内休憩スペースやその他施設の検討

#### 催事・レク委員会

##### 1 委員構成

委員長 加藤早里佳  
副委員長 小池沙織  
委員 仲島友子、穂積和代、松坂喜美代、須藤克己、  
宮本侑達、熊谷安代、涼貴三子、金井貴子、  
高川幸恵 計11名

##### 2 委員会開催回数9回（毎月第4木曜日16時より）

##### 3 活動実績

- (1) 新人歓迎会の実施
- (2) 研修会の実施・評価
- (3) 作品展の実施・運営方法の改定
- (4) 忘年会の実施

##### 4 申送事項

- (1) 研修会準備において医師の協力が必要、前後でアンケート実施
- (2) 作品展に関して準備や飾り付けが時間外だったため、今年度は委員会の時間で行えるようスケジュールを調整した
- (3) 年間スケジュールは同じでいくためイベント実施場所を早く予約する  
作品展は呼びかけを早めに行えるように調整する
- (4) 各行事毎に担当部署を決めていたが人数も少ないため、今年度は各行事内で担当を振り分けた

#### 地域活動委員会

##### 1 委員構成

委員長 仲山 久美子  
副委員長 上松 東宏  
委員 年森慎一、永久保珠絵、高木奈央子、畔上紗希、大鳥文子、長谷川和江 計8名

##### 2 委員会開催回数10回（毎月第4木曜日16時より 医科 海側待合室）

##### 3 活動実績

- (1) 院外健康教室計画・開催



日 時：平成30年10月

場 所：館山市 元気な広場

テーマ：子どもの成長を心理学・医学から考える

講 師：年森慎一 医師

(2) 健康川柳募集と展示

開催日：平成30年9月（作品展と同時開催）

(3) 館山市赤ちゃんの駅事業への申請と登録

平成31年2月1日より運営開始

(4) 納涼祭企画～子育て世代も参加できるような研修の機会をつくる～

開催日：平成31年3月2日

場 所：トレイクルマーケット

テーマ：子どもの成長を心理学・医学から考える

講 師：年森慎一 医師

4 申し送り事項

ビーチクリーン活動

院内掲示の見直し（家庭医とは）

衛生委員会

1 委員構成

委 員 岩間秀幸 田中真紀子 西山新治 鈴木路子 大矢早苗 高橋亮太 計6名

委員長 高橋亮太 副委員長 西山新治

産業医 高橋亮太 衛生管理者 岩間秀幸

2 委員会開催回数12回

3 活動実績

(1) 活動目的の共有

(2) 活動計画の共有

(3) 産業医の指定、衛生管理者の指定

(4) 衛生委員会の開催

(5) 職場巡視の実施

(6) 亀田総合病院 衛生委員会スタッフ（産業医、衛生管理者等）との情報共有

4 申送事項

(1) 新年度への業務引継

今年度で衛生委員会として活動開始して2年目となった。委員が交代する部署もあり確実

な業務引継をお願いする。

(2) 定期健康診断結果の共有

健康診断結果は個人情報であり、結果共有には事前に被検者にお知らせと同意が必要。

また、亀田総合病院 衛生委員会スタッフとの調整が必要。

(3) メンタルヘルスチェック結果の共有

定期健康診断結果と同様。事前にお知らせと同意が必要。また、亀田総合病院 衛生委員会スタッフとの調整が必要。

## ISO委員会

### 1 委員構成

委員長 佐藤 直人

副委員長 東 拓弥

委員 吉澤医長、小澤歯科センター長、鈴木看護室長 計5名

※10月よりISO事務局へ名称変更

委員構成 佐藤 直人、東 拓弥、松井 考悦 計3名

### 2 委員会開催回数 8回（毎月第4木曜日16時より）

### 3 活動実績

#### (1) ISO認証へ向けての準備

① 内部監査への準備（各担当者への周知等）

② 外部監査への準備（各担当者への周知等）

### 4 申送事項

#### (1) ISO事務局の継続可否について

・ISO業務については、常時、事務作業が発生することがないことから今後、ISOの更新にともなう規程の改訂協議等については、CQI委員会へ委譲することとなりました。

文責：岡田 唯男、佐藤 直人

## 学 術 関 係

### 1) 原著論文 (Original Articles, Refereed Articles, Systematic Reviews)

1. Yuki Kataoka, Hiraku Tsujimoto, Yasushi Tsujimoto, Yuka Urushibara-Miyachi, Yuda Miyamoto, Hideto Yasuda, Hiromitsu Yamashita, Ryohei Yamamoto, Hiroshi Nishigori. Current status of medical education research in Japan: A meta-epidemiological investigation. The Asia Pacific Scholar (TAPS). Published online: 7 May, 4(2), 7-13

### 2) 出版（分担執筆、翻訳も含む）

1. 吉澤瑛子. 編集幹事 治療 お母さんを守ろう 家庭医は産前家族の応援団 2018年4月 vol. 1. 100 No. 4 南山堂

2. 岡田唯男. 専門編集 スーパー総合医 予防医療のすべて 2018年7月 ISBN978-4-73908-3  
中山書店
3. 香田将英. 岡田唯男. 「予防医療とは」 スーパー総合医 予防医療のすべて 2018年7月 I  
SBN978-4-73908-3 P2-4 中山書店
4. 岡田唯男. 「予防医療（ヘルスマイntenランス）の4領域」 スーパー総合医 予防医療のすべ  
て 2018年7月 ISBN978-4-73908-3 P5-7 中山書店
5. 岡田唯男. 「良いスクリーニングの条件, 予防医療のバイアス」 スーパー総合医 予防医療の  
すべて 2018年7月 ISBN978-4-73908-3 P15-18 中山書店
6. 岡田唯男. 「COLUMN 高齢者予防医療のやめどき」 スーパー総合医 予防医療のすべて 201  
8年7月 ISBN978-4-73908-3 P30-31 中山書店
7. 菅長麗依. 「予防接種 総論 予防接種における誤解とその対応」 スーパー総合医 予防医療  
のすべて 2018年7月 ISBN978-4-73908-3 P47-51 中山書店
8. 菅長麗依. 「百日咳ワクチン 思春期, 成人の流行予防を中心に」 スーパー総合医 予防医療  
のすべて 2018年7月 ISBN978-4-73908-3 P57-60 中山書店
9. 岡田悠. 「麻疹風疹混合(MR)ワクチン, おたふくかぜ(ムンプス)ワクチン 先天性風疹症候群の  
予防を中心に」 スーパー総合医 予防医療のすべて 2018年7月 ISBN978-4-73908-3 P70  
-72 中山書店
10. 岡田唯男. 「行動変容とカウンセリングのための理論 TTM(Transtheoretical Model)を中心  
に」 スーパー総合医 予防医療のすべて 2018年7月 ISBN978-4-73908-3 P84-89 中山  
書店
11. 岡田唯男. 「タバコのカウンセリング」 スーパー総合医 予防医療のすべて 2018年7月 IS  
BN978-4-73908-3 P90-94 中山書店
12. 坂井雄貴. 岡田唯男. 「その他の予防医療」 スーパー総合医 予防医療のすべて 2018年7月  
ISBN978-4-73908-3 P100-102 中山書店
13. 水谷佳敬. 「望まない妊娠・異常妊娠の予防」 スーパー総合医 予防医療のすべて 2018年7  
月 ISBN978-4-73908-3 P114-117 中山書店
14. 濱井彩乃. 「サプリメント, 栄養補助食品などの摂取」 スーパー総合医 予防医療のすべて  
2018年7月 ISBN978-4-73908-3 P121-123 中山書店
15. 岡田唯男. 「Special Lecture アスピリンの予防的内服」 スーパー総合医 予防医療のすべ  
て 2018年7月 ISBN978-4-73908-3 P133-138 中山書店
16. 岡田唯男. 「COLUMN 忘れられた万能の予防薬? Polypill」 スーパー総合医 予防医療のす  
べて 2018年7月 ISBN978-4-73908-3 P139-140 中山書店
17. 岡田唯男. 「高齢者総合機能評価 (CGA) 高齢者は「歳をとった大人」ではない」 スーパー総  
合医 予防医療のすべて 2018年7月 ISBN978-4-73908-3 P148-154 中山書店
18. 篠塚愛未. 岡田唯男. 「ACSCとは」 スーパー総合医 予防医療のすべて 2018年7月 ISBN9  
78-4-73908-3 P216-219 中山書店
19. 岡田悠. 「脱水/栄養不良 小児の場合」 スーパー総合医 予防医療のすべて 2018年7月 I  
SBN978-4-73908-3 P231-233 中山書店
20. 水谷佳敬. 「骨盤内炎症性疾患」 スーパー総合医 予防医療のすべて 2018年7月 ISBN978-  
4-73908-3 P261-263 中山書店

21. 張耀明. 「高血圧」 スーパー総合医 予防医療のすべて 2018年7月 ISBN978-4-73908-3 P264-267 中山書店
22. 岡田悠. 「熱性けいれん」 スーパー総合医 予防医療のすべて 2018年7月 ISBN978-4-73908-3 P309-310 中山書店
23. 岡田唯男. 「エビデンス-診療ギャップとエビデンス・パイプライン」 スーパー総合医 予防医療のすべて 2018年7月 ISBN978-4-73908-3 P316-325 中山書店

### 3) 原著論文以外 (総説, Review, Thesis, 依頼論文, コラム, 手紙, 報告など)

1. 岡田唯男. 「プライマリ・ケア言始め -今さら聞けないひととことば- 第7回 プライマリ・ケアの特徴を記述する(これまでのまとめ+α)」プライマリ・ケア 2018年4月 vol.3 No.1 p50 日本プライマリ・ケア連合学会
2. 岡田唯男. 「脂質異常症」薬局 2018年4月 vol.69 No.5 p2244-2250 南山堂
3. 吉澤瑛子. 「コラム：医師の結婚生活 実態調査」治療 2018年4月 vol.100 No.4 P370 南山堂
4. 宮本侑達. 上川万里子(N). 吉澤瑛子. 「母乳育児の重要性-プレネイタルビジット-」治療 2018年4月 vol.100 No.4 P393-397 南山堂
5. 氏川智皓. 「ドメスティック・バイオレンス」治療 2018年4月 vol.100 No.4 P398-403 南山堂
6. 濱井彩乃. 「コラム：女性アスリートを悩ませる“FAT”とは？」治療 2018年4月 vol.100 No.4 P404 南山堂
7. 岡田悠. 「今は妊娠を望まない-避妊法、低用量ピルの使い方-」治療 2018年4月 vol.100 No.4 P407-412 南山堂
8. 久保田希. 「妊娠したい-基礎体温、タイミング法-」治療 2018年4月 vol.100 No.4 P413-417 南山堂
9. 菅長麗依. 「妊娠中の生活指導-食事、環境、性交渉、シートベルトなど-」治療 2018年4月 vol.100 No.4 P439-445 南山堂
10. 西山新治(R). 「コラム：腰の痛い妊婦さんへ」治療 2018年4月 vol.100 No.4 P446-447 南山堂
11. 田島明野. 「薬の選び方」治療 2018年4月 vol.100 No.4 P448-452 南山堂
12. 水谷佳敬. 「産科との連携のコツ」治療 2018年4月 vol.100 No.4 P462-467 南山堂
13. 年森慎一. 坂井雄貴. 岡田唯男. 「若年妊婦を取り巻く“健康の社会的決定要因”」治療 2018年4月 vol.100 No.4 P473-477 南山堂
14. Tadao Okada, Ryota Takahashi. 「Error ?」 e-letter to: Original Research: Amanda K. et al. Burnout and Scope of Practice in New Family Physicians Ann Fam Med May /June 2018 16:200-205; doi:10.1370/afm.2221
15. Reeve J, Beaulieu MD, Freeman T, Green LA, Lucassen P, Martin C, Okada T, Palmer V, Sturgiss E, Sturmborg J, van Weel C; NAPCRG Advancing Generalist Expertise SIG. REVITALIZING GENERALIST PRACTICE: THE MONTREAL STATEMENT. From the North American Primary Care Research Group. Ann Fam Med. 2018 Jul;16(4):371-373. doi: 10.1370/afm.2280.

16. 岡田唯男. 「プライマリ・ケア言始め -今さら聞けないひととことば- 第8回プライマリ・ケアを記述する(Kringos の10 の軸, 2010)」プライマリ・ケア 2018年7月 vol.3 No.2 p52  
日本プライマリ・ケア連合学会
17. 菅長麗依. 「妊娠可能な女性 妊婦とその家族」治療 2018年8月 Vol.100 No.8 p939-943  
南山堂
18. 岡田唯男ら. 「第4部 総合診療に関する国際比較」 in 前野 哲博. 総合診療が地域医療における専門医や他職種連携等に与える効果についての研究. 厚生労働科学研究費補助金 行政政策研究分野 厚生労働科学特別研究 平成29(2017)年度 2018年7月3日公開
19. 岡田唯男. 「プライマリ・ケア言始め -今さら聞けないひととことば- 第9回プライマリ・ケアを記述する2 (Starfield,1992,1998, Macinko, 2003)」プライマリ・ケア 2018年10月 vol.3 No.3 p61 日本プライマリ・ケア連合学会
20. 濱井彩乃. 「思春期とスポーツ」治療 2018年10月 vol.100 No.10 P1182-1186 南山堂
21. 岩間秀幸. 「総合診療医／家庭医が診る不登校-いじめ・虐待について-」治療 2018年10月 vol.100 No.10 P1197-1203 南山堂
22. 上松東宏. Point-Of-Care 超音波を系統的に学ぶ ~Ultrasound Leadership Academy (超音波遠隔学習コース) を終えて. 総合診療. 2018 ; 28(10) : 1427-1429. 医学書院
23. 上松東宏. プライマリ・ケア診療におけるPoint-of-care超音波 : 国際比較に基づく現状と展望. 日本プライマリ・ケア連合学会誌2018, vol. 41, no. 4, p. 184-190
24. 菅長麗依. 「性風俗産業従事者 (CSW) のヘルスマネジメント~男性CSWおよび女性CSWについて~」外来でどう診る? 性行為感染症~プライマリケア医の悩み・疑問に答えます~ 2018.10.25 通巻58号 日本医事新報
25. 菅長麗依. 「婦人科疾患の予防、治療と妊娠」地域で実践するプレコンセプションケア Vol. 3 2 No. 12 月刊地域医学 2018年12月
26. 伊豆倉遥. 「葉酸, タバコ, アルコール」治療 2018年4月 vol.100 No.4 P372-375 南山堂
27. 伊豆倉遥. 「思春期の不眠『子どもがスマホばかりして寝るのが遅く、朝も起きられず困っています...』」Gノート 2018年12月号Vol.5.No.8 P1323-1330

#### 4) 学会、研究会発表

1. 上松東宏. 口演 眼科その他 91-他-010「家庭医療後期研修プログラムにおけるPoint-Of-Care超音波教育の試み」日本超音波医学会第91回学術大会 神戸 2018年6月8日
2. 岩間秀幸. ポスター 地域包括ケア① P-活-063「グループ診療の無床診療所における地域包括診療料算定とその課題と対策」第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 津 2018年6月16日
3. 岡田悠. ポスター 活動報告6 予防医療・健康増進1 P-活-032「将来、屋外業務に従事する学生に対する破傷風トキソイド接種勧奨の取り組み」第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 津 2018年6月16日
4. 金久保祐介. ポスター 症例報告2 急性・慢性疾患のケア② P-症-010「カテーテル関連尿路感染症として加療されたのち尿道周囲膿瘍と診断された在宅患者の一例」第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 津 2018年6月16日

5. 濱井彩乃. ポスター 症例報告6 緩和ケア P-症-031「慢性疼痛に対すデュロキセチンとフェンタニルの併用により、セロトニン症候群を発症した一例」第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 津 2018年6月16日
6. 金城謙太郎. ポスター 活動報告12 診療所・病院経営 P-活-067「プライマリ・ケア医の中小病院経営への関与～コミュニティホスピタルジャパン：厚木市 亀田森の里病院～」第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 津 2018年6月16日
7. 上松東宏. 口演 International Session2 IS-0-09「Utilization of ultrasound in ambulatory primary care setting in Japan」第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 津 2018年6月17日
8. 水谷佳敬. 口演 性差医療（男性・女性ケアなど）・外傷のケア・身体診察 0-155「総合診療医が産科医と共同して周産期管理にかかわることの有用性についての検討」第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 津 2018年6月17日
9. 近藤慶太. ポスター 症例報告20 患者中心の医療・終末期のケア P-症-116「心理社会的要因により、訪問診療の継続が困難だったガン患者の1例」第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 津 2018年6月17日
10. 坂井雄貴. ポスター 国際キャリア支援② PI-13「History of Family Medicine and Primary Care Change in Thailand - What can we learn from Thailand? -」第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 津 2018年6月17日
11. 宮本侑達. ポスター 活動報告17 幼少児・思春期のケア・実践報告 P-活-096「母校で行う地域志向アプローチの実践」第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 津 2018年6月17日
12. 加藤早里佳(N). ポスター 活動報告25 他職種連携② P-活-140「プライマリケア看護学の勉強会が診療所看護師の自信や誇りに与える影響 第2報」第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 津 2018年6月17日
13. 田島明野. ポスター 活動報告28 ICT・遠隔医療②・診療の質改善① P-活-163「当院とグループ病院の妊婦健診における風疹抗体価低値の患者数と予防接種数の乖離」第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 津 2018年6月17日
14. 相田万実子. ポスター 高次脳機能障害 1-IP-8-6「自動車運転再開支援におけるプライマリケア医師の葛藤」日本リハビリテーション医学会第55回学術集会 福岡 2018年6月28日
15. 相田万実子. 口演 各施設の試み 4-5-5-8「総合診療医（プライマリ・ケア医）対象のリハビリテーション医療ワークショップ」日本リハビリテーション医学会第55回学術集会 福岡 2018年7月1日
16. 岡田唯男. ポスター 卒後臨床教育・臨床研修制度1 P-23-7「家庭医療専門医／総合診療専門医の生涯学習における商業誌の担う役割」第50回日本医学教育学会大会 東京 2018年8月4日
17. 岡田唯男. ポスター PP1-178「CPD Needs of the Graduates of One Family Medicine Residency Program in Japan」22<sup>nd</sup> WONCA World Conference of Family Doctors Seoul, Korea 2018年10月18日
18. 岡田悠. ポスター PP2-122「Attempt to Recommend Cervical Cancer Screening by Flyers」22<sup>nd</sup> WONCA World Conference of Family Doctors Seoul, Korea 2018年10月19日

19. 岡田唯男. ポスター 調査 1-5-P18-7「スポーツ運動医学 (SEM) 実践者 (医師) に求められる能力 (competency) と領域 (domain) 等についてのカリキュラム及び文献分析による考察」第29回日本臨床スポーツ医学会学術集会 札幌 2018年11月2日
20. 濱井彩乃. 口演22 呼吸器・循環器 1-7-022-6「トライアスロン大会参加者の突然死等に関する情報収集の現状と、有基礎疾患者の参加状況について」第29回日本臨床スポーツ医学会学術集会 札幌 2018年11月2日
21. 河田祥吾. ポスター 「プライマリ・ケア外来におけるACP聞き取り状況についての報告」第7回日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック地方会 千葉 2018年11月18日
22. 岡田唯男. ポスター P232「Applicability of SAME-TT2R2 in Japanese Population to Predict Good Warfarin Control (TTR)」2018 NAPCRG Annual Meeting Chicago, Illinois 2018年11月10日
23. 坂井雄貴. ポスター SRF077「Knowledge and Attitude toward LGBT Patients of Health Professionals in a Family Medicine Center in Japan」2018 NAPCRG Annual Meeting Chicago, Illinois 2018年11月10日
24. 上松東宏. ポスター P267「Exploring Prerequisites to Learn Point-of-Care Ultrasound in Family Medicine Faculty and Residents : A Study Protocol for Mixed Methods」2018 NAPCRG Annual Meeting Chicago, Illinois 2018年11月10日

#### 5) 招待講演, ワークショップ, 講師など学術関係

1. 岡田唯男. 講師「プロフェッショナリズムと態度領域の教育」九州HANDS 大分 2018年5月12日～13日
2. 岡田唯男. 講義「特別講義：総合診療とは」平成30年度秋田大学医学部医学科授業計画 臨床医学Ⅲ 4年次必修 総合診療・臨床検査 一病態診断学と総合診療 2018年6月8日
3. 岡田唯男. 教育講演「プライマリ・ケアにおける押さえておきたい古典的文献 (第2弾) (学会のあり方・知的活性化プロジェクトチーム (通称チーム岡田) 企画)」第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 大分 2018年5月12日～13日
4. 岡田唯男. インタラクティブセッション「Top 5 List for Family Medicine: Choosing wisely in Japanに向けて」第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 津 2018年6月16日
5. 坂井雄貴. シンポジウム「産婦人科ブロック研修を経験して-専攻医の立場から-」第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 津 2018年6月17日
6. 金城謙太郎. インタレストグループ「コミュニティホスピタル (200床未満の中小病院) におけるプライマリ・ケア医の役割」第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 津 2018年6月17日
7. 岡田唯男. インタラクティブセッション「第21回臨床研究デザイン道場 日野原賞受賞演題から学ぶ研究デザイン作成のコツ！」第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 津 2018年6月17日
8. 岡田唯男. 講義「在宅医療と家庭医学」医療情報経済学ユニット 第4学年 千葉大学医学部 2018年7月10日
9. 岡田唯男. 講師「FDとは？」北信越HANDS 福井 2018年7月20日～22日

10. 金久保祐介, 宮本侑達, 河田祥吾, 久保田希, 久保伸貴, 高島大樹. WS「明日から使える! 「患者中心の医療の方法」」第30回学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー 湯河原 2018年8月4日
11. 宮本侑達, 久保田希. WS「患者は本人だけではない! 家族を見ることでこんなにわかる~明日から使える家族の見方をお伝えします~」第30回学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー 湯河原 2018年8月4日
12. 年森慎一. WS「日本でどんな家庭医が育っているの?~第7回家庭医療専門医試験を体験する~」第30回学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー 湯河原 2018年8月5日
13. 岡田悠. 講師「かぜ診療ブラッシュアップコース指導者講習会」AMR対策臨床セミナー in 千葉 幕張 2018年9月8日
14. 岡田唯男. 講師「優秀な家庭医の育成に必要なたった一つ?のここと」第6回静岡プライマリ・ケアフォーラム/第31回東海家庭医療ネットワークカンファレンス in 浜松 2018年9月9日
15. 岡田唯男. 講義「総合診療入門」臨床医学総論 第3学年 日本医科大学 2018年9月10日
16. 上松東宏. WS「国際的な視野を持とう!-様々な総合診療関係の国際学会・海外での演題発表・国際誌への論文の書き方・連合学会のInternational sessionなどの情報交換-」第16回秋季生涯教育セミナー 大阪 2018年9月16日
17. 上松東宏, 岡田唯男. WS「医療者のウェルネスと燃えつき(医療の質・患者安全委員会企画)」第16回秋季生涯教育セミナー 大阪 2018年9月16日
18. 宮本侑達, 伊豆倉遥, 久保田希, 吉澤瑛子, 瀬良信勝. 第55回 安房医療ねっと 遺族ケアを考える ~点から線、線から面へ~ 安房医療福祉専門学校 2018年9月25日
19. 近藤慶太. 講師「第70回医学教育セミナーとワークショップ」岐阜大学医学教育開発研究センター 栃木 2018年11月3日
20. 菅長麗依. セミナー「第1回 プライマリケア医のためのワクチン&渡航医学セミナー ワクチン虎の穴」名古屋中部国際空港 会議室 2018年11月3-4日
21. 岡田唯男. 教育講演「症例から学ぶ家庭医療・総合診療」第7回日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック地方会 千葉 2018年11月18日
22. 久保伸貴. シンポジウム「総合診療専門医プログラムが開始して半年経った今」第7回日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック地方会 千葉 2018年11月18日
23. 上松東宏, 岡田悠, 宮本侑達, 伊豆倉遥. WS「超音波セッション(ハンズオン含む) WS-1「ゼロから始めるファッショアリリース講座」 WS-2「全身を診るプライマリ・ケア医師のためのほんとに初歩のエコー講座」」第7回日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック地方会 千葉 2018年11月18日
24. 吉澤瑛子. WS「アドバンス・ケア・プランニング再考~「自分ごと」と「他人ごと」の狭間で価値観を考える~」第7回日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック地方会 千葉 2018年11月18日
25. 岡田唯男. 講師「ポートフォリオ研修会」サエラ薬局 大阪 2018年11月23日
26. 岡田唯男. 講師「cinemeducation」神戸大学指導医養成講習会 神戸 2018年11月24日
27. 岡田唯男. 講師「予防医療のすべて」第7回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック支部学術集会 福井 2018年11月25日



28. 年森慎一. 講演「認知症における睡眠障害、ABC認知症スケールについて」安房認知症セミナー2018 館山 2018年11月28日
29. 相田万実子. 宮本侑達. 講師 第3回Chiba Clinical Skills Boot Camp 2018 千葉 2018年12月9日
30. 吉澤瑛子. 講師 東邦大学ジェネラリストセミナー 東京 2019年1月5日
31. 相田万実子. 講師「診療実践コース「リハビリテーション」」平成30年度全日本病院協会総合医育成プログラム 東京 2019年2月3日
32. 坂井雄貴. プレセミナー「Road to “WONCA 京都” -なぜ国際交流か!?-」第14回 若手医師のための家庭医療学冬期セミナー 東京 2019年2月9日
33. 河田祥吾. 特別企画スタッフ「ポートフォリオの作り方・考え方」第14回 若手医師のための家庭医療学冬期セミナー 東京 2019年2月9日
34. 宮本侑達. 高島大樹. 濱田春樹. WS「家族療法家と学ぼう！家族カンファレンスのエッセンス」第14回 若手医師のための家庭医療学冬期セミナー 東京 2019年2月9日
35. 年森慎一. WS「明日からできる！「医療×地域づくり」パラダイムシフト ～日本式・健康格差対策への挑戦～」第14回 若手医師のための家庭医療学冬期セミナー 東京 2019年2月9日
36. 久保田希. 金久保祐介. 伊豆倉遙. WS「ERで出来るヘルスマネジメント ～総合診療医として一つ上のER診療を目指して～」第14回 若手医師のための家庭医療学冬期セミナー 東京 2019年2月9日
37. 相田万実子. WS「リハビリテーション科医とプライマリ・ケア医コラボ企画 症例から学ぶ嚙下入門」第14回 若手医師のための家庭医療学冬期セミナー 東京 2019年2月10日
38. 河田祥吾. 特別企画スタッフ「「私は総合診療医です」～私のやりがい、伝えます～」第14回 若手医師のための家庭医療学冬期セミナー 東京 2019年2月10日
39. 岩間秀幸. 講師 ちばの専門研修オリエンテーション 千葉 2019年3月17日
40. 伊豆倉遙. 教育講演「症例から学ぶ家庭医療総合診療」第7回日本プライマリ・ケア連合学会 関東甲信越ブロック地方会 千葉 2018年11月18日
41. 伊豆倉遙. シンポジウム「プライマリ・ケアの今までとこれから」第7回日本プライマリ・ケア連合学会 関東甲信越ブロック地方会 千葉 2018年11月18日
42. 濱井彩乃. 講師 「Primary Care Sports Medicine」静岡家庭医養成プログラムグランド・ラウンド 2018年12月10日
43. 濱井彩乃. 講師 「家庭医のためのスポーツ医学」家庭医のためのブラッシュアップ講座. 2019年3月

## 6)その他

### \*受賞、助成金獲得など

1. 研究分担 第4 部 総合診療に関する国際比較 統括 厚生労働行政推進調査事業費補助金（厚生労働科学特別研究事業）総合診療が地域医療における専門医や他職種連携等に与える効果についての研究 平成30（2018）年3月 平成29年度 総括研究報告書 研究代表者 前野哲博 6,400,000円 岡田唯男

2. 日本プライマリ・ケア連合学会 2018年度家庭医療専門医試験 臨床実技試験 優秀賞 久保田希
3. 日本プライマリ・ケア連合学会 2018年度家庭医療専門医試験 ポートフォリオ 優秀賞 年森慎一
4. 日本プライマリ・ケア連合学会 2018年度家庭医療専門医試験 ポートフォリオ 優秀賞 相田万実子
5. 亀田総合病院 2018年度家庭医診療科内BEST指導医 吉澤瑛子

\*委嘱事業

1. 岡田唯男. 臨床教授 東京医科歯科大学 2018年度
2. 岡田唯男. 臨床教授 千葉大学 2018年度
3. 岡田唯男. 客員教授 聖マリアンナ医科大学 内科学（総合診療内科） 2018年度
4. 岡田唯男. 客員准教授 東海大学 2018年度
5. 岡田唯男. 嘱託講師 島根大学医学部 総合医療学 2018年度
6. 岡田唯男. 非常勤講師 千葉大学医学部 医療経済情報学 2018年度
7. 岡田唯男. 非常勤講師 秋田大学医学部 臨床検査と診断学 2018年度
8. 岡田唯男. 吉澤瑛子. 岩間秀幸. 上松東宏. 田島明野. 氏川智皓. 岡田悠. 相田万実子. 久保田希. 年森慎一. 非常勤講師 安房医療福祉専門学校 病態学Ⅷ（小児） 2018年度
9. 永久保珠絵(R). 西山新治(R). 特別非常勤講師 安房特別支援学校 2018年度
10. 岡田唯男. 学校医 館山市立北条小学校 2018年度
11. 岡田唯男. 学校医 千葉県立館山総合高等学校 2018年度
12. 岩間秀幸. 学校医 館山市立館野小学校 2018年度
13. 年森慎一. 学校医 館山市立館山小学校 2018年度
14. 濱井彩乃. 園医 館山市立館野幼稚園 2018年度
15. 岡田悠. 学校医 館山市立房南中学校 2018年度
16. 岡田唯男. 見学実習担当指導医 日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア認定薬剤師制度 2017年9月～2022年8月

\*座長, 大会長, 司会, パネリストなど

1. 吉澤瑛子. 座長「活動報告5 教育④」ポスター 第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 津 2018年6月16日
2. 上松東宏. 座長「International Session」Poster 第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 津 2018年6月16日
3. 濱井彩乃. 座長「教育④・他」口演 第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 津 2018年6月16日
4. 田島明野. 座長「活動報告33 教育⑧」ポスター 第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 津 2018年6月17日
5. 相田万実子. 座長「若手医師に聞いてもらいたい、患者アプローチとリハビリテーション医療のハナシ」パネルディスカッション 日本リハビリテーション医学会第55回学術集会 福岡 2018年6月29日

6. 岡田唯男. パネリスト PD-02-5「専門研修（家庭医・総合診療医）におけるプロフェッショナルナリズム教育」／「卒然・卒後に継続的なプロフェッショナルナリズム教育を組み込む」第50回日本医学教育学会大会 東京 2018年8月4日
7. 岡田唯男. パネリスト「シンポジウム1：東北地域に総合診療医を増やすために」第8回日本プライマリ・ケア連合学会 東北支部学術集会 仙台 2018年9月1日～2日
8. 岩間秀幸. パネリスト「女性も男性も働きやすい環境づくりの工夫、自院の取り組み／ダイバーシティ～職場の多様性、医療機関における働き方を考える～」千葉県医師会第4回男女共同参画懇談会 千葉 2019年3月9日

\*面接官，試験官など（依頼）

1.

\*取材・メディアなど

1. 岡田唯男. コメント「女性版 受けてはいけない/絶対受けるべき検診・検査」女性セブン 2018年10月18日号 小学館

\*一般向け講演、指導、健康教室（Sはスポーツ医としての依頼、Nは看護師、Rはリハビリ、その他は医師）

1. 千葉県安房特別支援学校 永久保珠絵(R)、西山新治 (R)…自立活動の指導助言 各、年5回
2. 千葉県安房特別支援学校 指導医 医療的ケアの指導 年6回
3. 館山市簡易マザーズホーム 永久保珠絵(R) 年4回、小池沙織(R) 年6回…療育相談
4. 岡田唯男. 講師「発達障害児童生徒への具体的対応について」安房地方学校保健会講演会 南房総 2018年5月31日
5. 久保田希. 坂井雄貴. 久保伸貴. 健康教室「性感染症予防について」南房総市立千倉中学校 3年生生徒 2018年7月6日
6. 岩間秀幸. 相田万実子. 金久保祐介. 伊豆倉遥. 山木良輔. 健康教室「性感染症予防について」南房総市立富山中学校 2・3年生生徒 2018年7月10日
7. 岡田悠. 坂井雄貴. 阿部智史. 健康教室「禁煙について」海上技術学校 2018年7月11日
8. 吉澤瑛子. 年森慎一. 阿部智史. 稲垣陽子. 健康教室「性感染症予防について」館山市立第一中学校 3年生生徒 2018年7月18日
9. 荒牧奈緒美(R). 講師「発達段階に応じた、動きを引き出す働きかけ」千葉県立安房特別支援学校 職員 2018年8月23日
10. 上松東宏. 河田祥吾. 伊豆倉遥. 西明博. 宮田豊大. 健康教室「「症状がない」が怖い糖尿病」血糖値ニコニコ教室 館山コミュニティーセンター 2018年8月29日
11. 宮本侑達 健康教室 「感染症およびメンタルヘルスについて」渋谷教育学園幕張高等学校 1年生生徒 2018年9月27日・28日
12. 岡田悠. 河田祥吾. 常石大輝. 熊谷安代. 樋口大樹. 講師「妊産婦等のアルコールによる影響とその対策について」安房合同校舎 母子保健推進員 2018年10月23日
13. 宮本侑達. 高島大樹. 菊地真由. 小川美咲. 健康教室「喫煙予防教室」館山市立豊房小学校・神余小学校 5年生・6年生生徒 2018年11月30日
14. 吉澤瑛子. 坂井雄貴. 永野泰寛. 健康教室「飲酒の害」南房総市立富山中学校 全校生徒 2018年12月6日

15. 岩間秀幸. 年森慎一. 赤穂良晃. 健康教室「喫煙予防教室」館山市立那古小学校 5年生生徒 2018年12月14日
16. 岡田唯男. 宮本侑達. 常石大輝. 健康教室「がん教育について」千葉県立館山総合高等学校 全校生徒 2018年12月19日
17. 上松東宏. 相田万実子. 常石大輝. 高橋揚子. 健康教室「喫煙予防」館山市立第一中学校 2年生生徒 2019年1月25日
18. 田島明野. 岡田悠. 熊谷安代. 健康教室「薬物乱用防止」南房総市立三芳小学校 5年生・6年生生徒 2019年1月30日
19. 年森慎一. 宮本侑達. 高橋寿彰. 佐々太希. 健康教室「薬物乱用防止」南房総市立千倉小学校 6年生生徒 2019年2月12日
20. 相田万実子. 濱田春樹. 熊谷安代. 上島万波. 健康教室「喫煙予防教室」館山市立館山小学校 5年生生徒 2019年3月6日

\*スポーツイベント帯同 大会ドクター及びマッチドクター

1. 2018年6月24日 第9回館山わかしおトライアスロン大会 (濱井彩乃、吉澤瑛子、氏川智皓、年森慎一、坂井雄貴、河田祥吾、伊豆倉遥、近藤慶太、久保伸貴、鈴木早苗(N)、小藤田史絵(N)、富川志乃布(N)、吉田憂子(N)、田中真紀子(N)、加藤早里佳(N)、西山新治(R)、須藤克己(R))
2. 2018年7月23日・24日 和光中学校 臨海学校 沖の島遠泳 (年森慎一、金久保祐介)
3. 2018年10月27日 Station Ride (宮本侑達、鈴木早苗(N))
4. 2019年1月27日 第39回館山若潮マラソン 館山市営市民運動場 (宮本侑達、金久保祐介)

\*地域イベントへの参加(地域連携)

1. 岩間秀幸. 第1回認知症ワーキンググループ 2018年6月21日
2. 吉澤瑛子. 第1回在宅推進ワーキンググループ 2018年7月26日
3. 岡田唯男. 第2回勤務医委員会 2019年3月28日

-----以上-----